

TOTO

バスリフト

EWB100型, EWB101型
EWB102型, EWB103型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

この説明書は、お客様もご使用されます。
施工後に必ずお客様にお渡しください。
施工後は必ずP13、P14の施工チェック表でご確認ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




- この説明書では、機器を安全に正しく取り付けいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。









- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。	 強制	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

専用の充電器、本体の注意表示にも沿ってお使いください。取り扱いを誤ると思わぬ事故や故障の原因となります。

 警告	
 禁止	充電器で電池を充電するときは、指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	指定の電池以外は使用しない 指定以外の電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす原因になります。
	電源コード、電源プラグが破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、 重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない) 感電・ショート・火災の原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
 分解禁止	修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理、改造を行わない 火災、感電の原因になります。また、故障の原因になります。

⚠ 警告

 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	セーフティーバーガイドピンを浴槽に当てない ガイドピンが浴槽に乗り上げて浴槽内壁ストッパーが効かず、使用中にバスリフトが動いたり転落し、おぼれたりけがをする原因になります。
 禁止	浴室内や湿気の多い場所に持ち込んで充電しない 感電や火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 水かけ禁止	充電器、電源プラグ、電池に水やお湯をかけない 火災や感電の原因になります。
 禁止	電池が水滴などでぬれている状態では充電しない 火災や感電の原因になります。
 禁止	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。
 禁止	シートに荷重をかけない状態でリモコンスイッチを操作しない 故障の原因となり、入浴時に急に昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。
 必ず実行	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
	シートクッションを確実にシートピンとシートクリップで固定する 使用中にクッションが外れて転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
	シートを確実に取り付ける 取り付けが不十分だとシートが落下したり、おぼれたりけがをする原因になります。
	セーフティーバーが上下に動くことを確認する セーフティーバーが作動しないとシートが上昇できずおぼれの原因になったり、シートとアームに手が挟まった時に止まらずけがをする原因になります。
	使用しないときは電池を取り外して浴室外の湿気のない場所に保管する さびの発生と電池の寿命が短くなるおそれがあります。また、昇降動作が停止しておぼれる原因になります。
	「アームの幅調整」と「浴槽内壁ストッパーの調整」を行い、バスリフトを浴槽にガタツキなくしっかりと取り付ける 使用中にバスリフトが動いたり転落し、おぼれたりけがをする原因になります。

⚠ 注意



禁止

バスリフトは浴槽の操作ボタン類等の突起物や水栓金具等の浴室内の他の機器類にぶついたり、その上に載せたりしない

他の機器類を破損する原因になります。

幅調整ねじを締め付け過ぎない

浴槽を破損する原因になります。

シート取付シャフトを持ってバスリフトを持ち上げない

本体の故障によりけがをする原因になります。

シートはスライド方向を上下に持たない

シートがスライドし、思わぬけがをする原因になります。

アーム裏のシリコンシートがめくれたり、外れた状態で設置しない

浴槽を傷つける原因になります。

バスリフトを持ち運ぶ場合は、手掛かり部分を持ち、足元や手、およびバスリフトの水気をふき取ってから行う

バスリフトを落とすと、けがをしたり、浴槽や浴室を破損する原因になります。

バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴室壁面とバスリフトのアームの間や、バスリフトと浴槽の間に手や指を挟まないように注意する

けがをする原因になります。

バスリフトが浴槽内に落下しない位置に仮置きする

商品や浴槽が破損する原因になります。

バスリフトを持ち上げたり、傾けたりするときは、バスリフトに手を挟まれないように注意する

けがをする原因になります。

バスリフトを持ち上げたり、傾けたりするときは、バスリフトを落とさないように注意する

けがをしたり、浴槽や浴室、バスリフトを破損する原因になります。

シート取付シャフトを押し込むときは、手を挟まないように注意する

けがの原因になります。

設置前に必ず浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを取り付ける

スペーサーAを取り付けないと、浴槽を傷つける原因になります。

スペーサーAが浴槽内壁に必ず接するようにアームの幅を調整をする

浴槽を傷つける原因になります。



必ず実行

2. お取り付けの前に

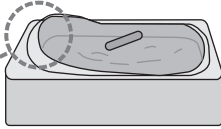
バスリフトをお取り付けになる浴槽を確認してください。

【設置条件】

■浴槽の種類について こんな種類の浴槽には設置できません

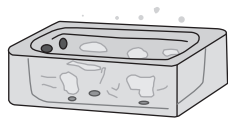
首もたれ(ヘッドレスト)付浴槽

首もたれ付き



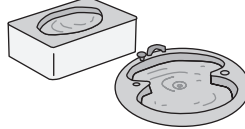
バスリフトを浴槽の上に置けません。

底から泡が出る浴槽



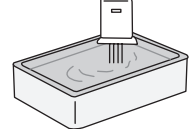
シートと泡の吹出し口が干渉します。

丸型浴槽・大型浴槽



バスリフトを設置する位置の浴槽寸法が下記数値に当てはまらない場合があります。

24時間保温浴槽



過度な高温多湿な室内では内部機器に支障が出る場合があります。

■浴槽の形状・寸法について

●TOTOの浴槽の場合

バスルーム専用カタログで確認いただくか、当社技術相談室へお問い合わせください。

技術相談室TEL:0570-01-1010

●TOTO以外の浴槽の場合

浴槽の寸法(A~L)が以下の数値に当てはまらないと設置できません。

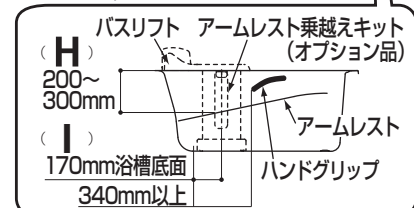
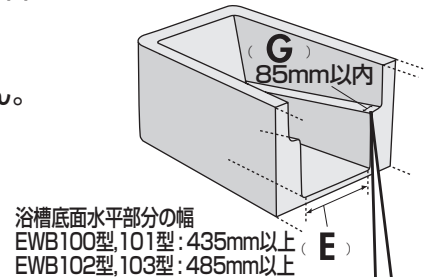
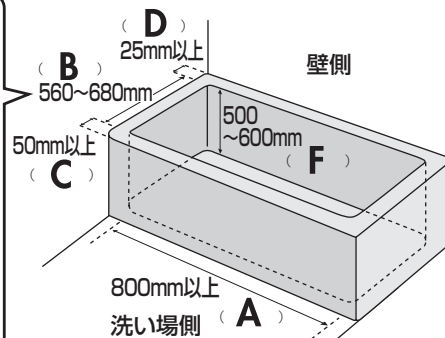
設置可能な浴槽幅寸法表

D(mm)	B最小(mm)	B最大(mm)
25	585	705
30	580	700
35	575	695
40	570	690
45	565	685
50以上	560	680

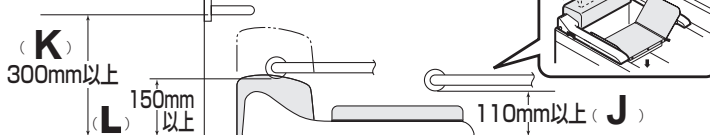
約40mm

浴槽幅内側寸法(B)

※浴槽幅はリム上面から約40mm下の幅を示しています。



■手すりの設置条件



アームレストのある浴槽はご注意ください!

浴槽内にアームレスト(段差)がある場合は、「アームレスト乗越えキット」(オプション・別売品)が必要です。ただし、アームレストの幅が85mm以上の場合は、乗越えキットでも対応できません。

注意

- 【設置条件】は浴槽の形状・寸法に対し、バスリフトが設置可能か判断するための条件です。使用者の使い勝手を保証するものではありません。
- 浴槽内の長さが800mmの場合や、ステップ付きの浴槽の場合、バスリフトに座った際のひざ前の空気が狭くなり、ご使用される方の状態によっては使用に適さない場合もあります。
- 手すりを設置する際は、使用者の身体状況にあわせて設置位置を決定してください。ただし、指挟み等を考慮し浴槽リム上面から手すりの最下端までは上記の寸法を守って取り付けてください。
- バスリフトを取り付ける場合は、
 - 水栓やシャワーフック
 - バスアダプター(追焚口)
 - 浴槽ワンプッシュ排水栓の操作ボタンや給湯機のリモコンなどがバスリフトやご使用になる方の体に当たらないか、また、問題なくこれら进行操作できるか十分にご確認ください。

⚠ 注意



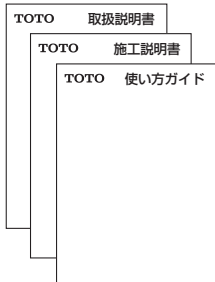
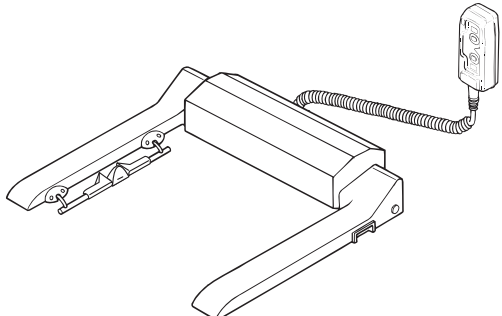
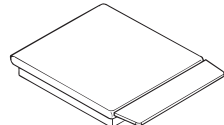
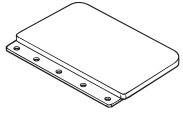
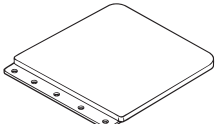
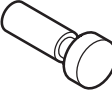
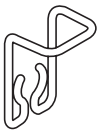
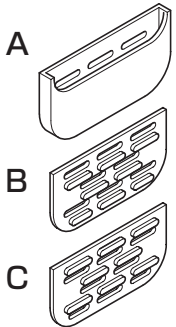
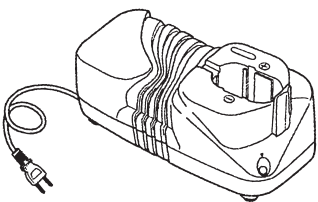
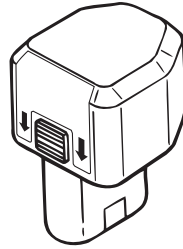
禁止

バスリフトは、浴槽の操作ボタン類等の突起物や水栓金具等の浴室内の他の機器類にぶついたり、その上に載せたりしない
他の機器類を破損する原因になります。

3. 梱包内容

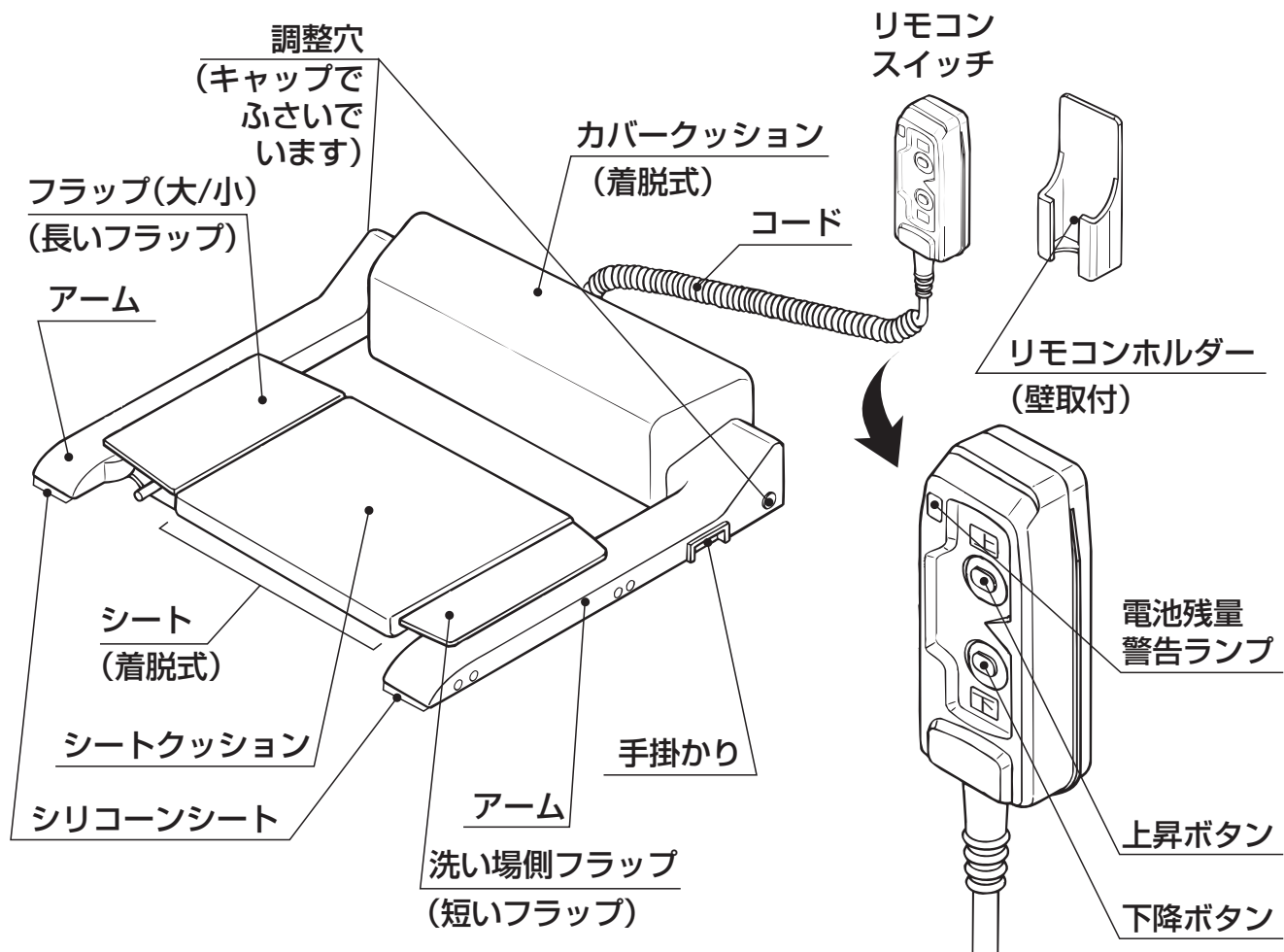
梱包内容を確認してください。

箱の中には以下の物が入っています。

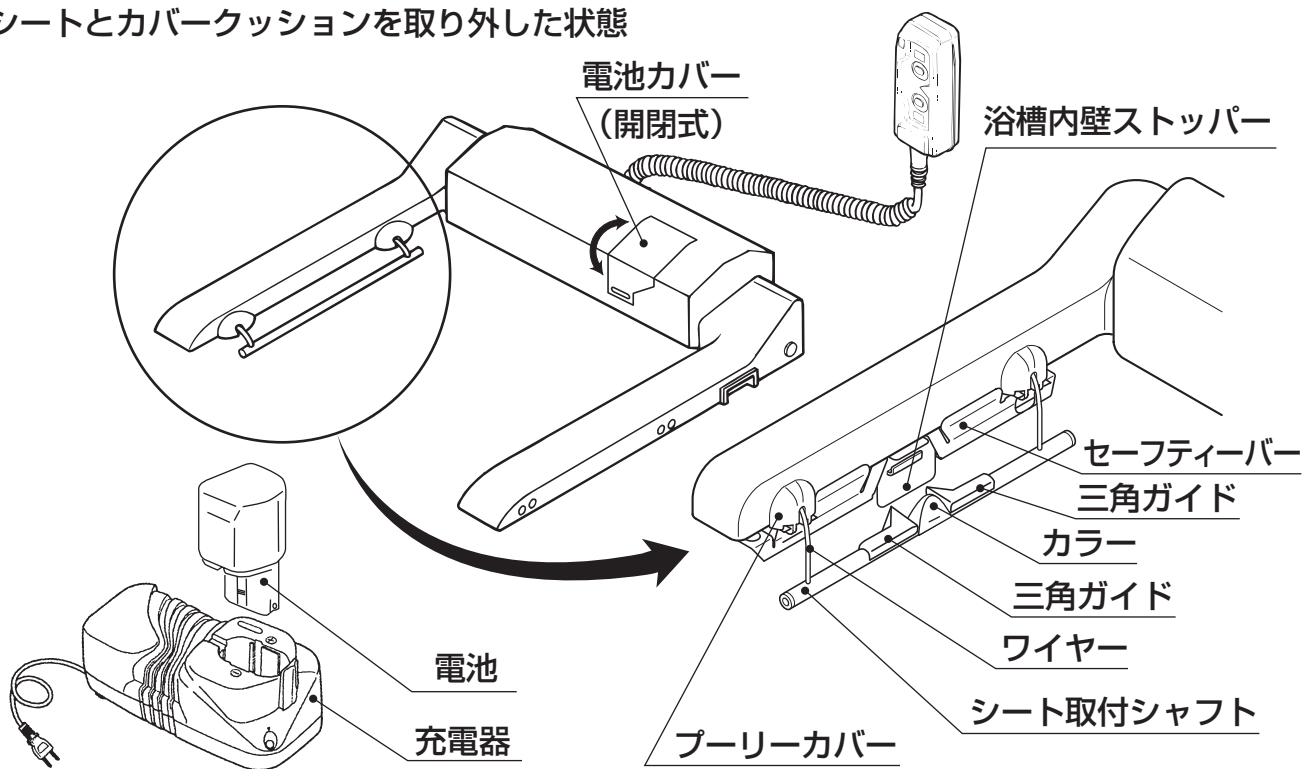
名称	印刷物組品		バスリフト本体		シート
数量	一式		1台		1台
形状					
名称	フラップ 小	フラップ 大	シートピン	シートクリップ	スペーサーセット
数量	1個	1個	2個	2個	1式
形状					 各2枚
名称	充電器			電池	
数量	1台			1個	
形状				 ※出荷時は充電されておりません。 あとの「試運転」で必要になります ので、まずは充電をしてください。	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

4. 各部の名称



シートとカバークッションを取り外した状態

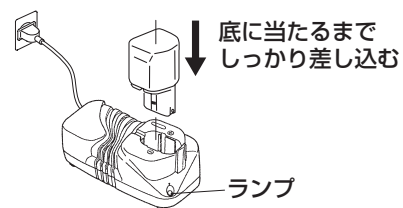


5-1. 取り付けかた

1 取付前の準備

① 充電する。

最初は電池が空の状態なので、取扱説明書の「使いかた」を参照し電池を充電してください。（充電時間は約70分です）



警告



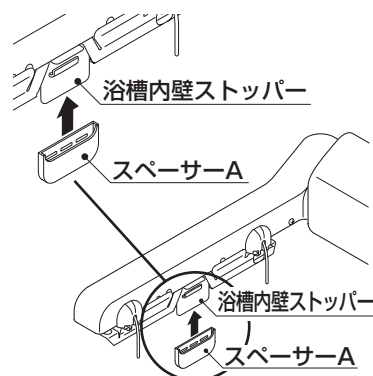
禁止

浴室内や湿気の多い場所で充電しない

感電や火災の原因になります。

② スペーサーAを取り付ける。

左右2カ所の浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを右図のように取り付けてください。



注意



必ず実行

設置前に必ず浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを取り付ける

スペーサーAを取り付けないと、浴槽を傷つける原因になります。

2-1 バスリフト本体の仮設置

① 浴槽の水を抜く。

バスリフトを落として水没させると、故障の原因になります。

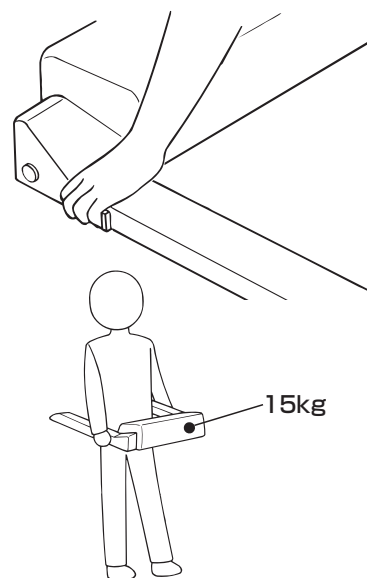
② バスリフトを持ち上げる。

左右両側に手掛かりが付いています。この手掛かりにしっかりと指を掛けて持ち上げてください。

バスリフト本体の重量は約15kgです。落とさないように十分ご注意ください。

バスリフト本体を一人で持ち運ぶ場合はカバークッションを前に向け、体を左右アームの間に入れるようにしてください。

一人で持ち運ぶのが困難な場合は無理をせず、二人以上で持ち運んでください。



③ バスリフトを仮置きする。

本体部と右アームまたは本体部と左アームを浴槽リムにのるように静かに置いてください。

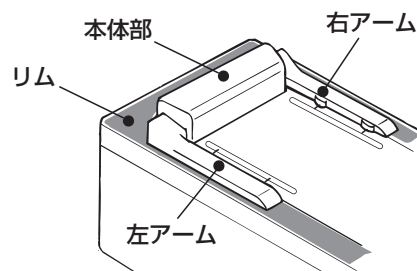
注意



必ず実行

バスリフトが浴槽内へ落下しない位置に仮置きする

商品や浴槽が破損する原因になります。

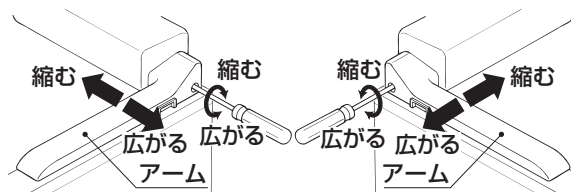


5-2.

2-2 バスリフト本体の仮設置 (つづき)

④アームの仮幅調整をする。

バスリフト本体の調整穴（洗い場側）に+ドライバーを差し込みます。浴槽内壁ストッパーが浴槽内壁に接するまで+ドライバーを回してアーム幅を広げてください。接したら、+ドライバーを逆方向に2回転回してください。

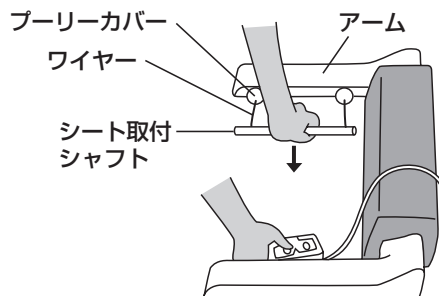


調整穴はアームの両側にあります。洗い場側から調整してください。

※ご注意 電動ドライバーは使用しないでください。ねじが破損して回らなくなることがあります。

ポイント

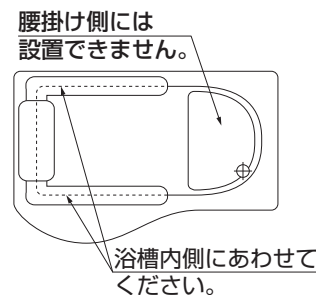
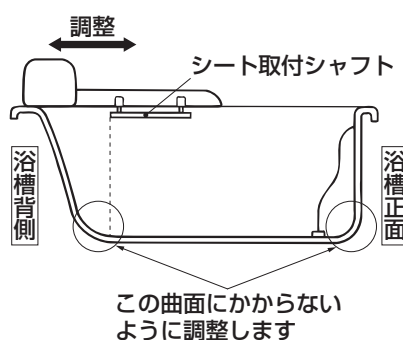
幅を広げる時にワイヤーがアームの中に引き込まれ、幅調整が十分にできない場合は、リモコンスイッチの「下」ボタンを押し、ワイヤーを10cm程度伸ばしてください。左右のシート取付シャフトを両方同時に下に押しつけながらワイヤーをたるませないように注意してください。



※ワイヤーを伸ばすときは、バスリフトが落下しないように注意してください。

⑤バスリフトの前後の位置調整を行う。

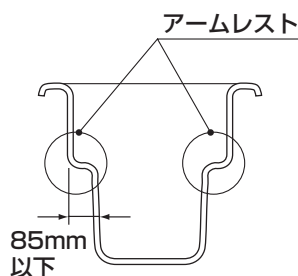
シートが浴槽底面まで下降した際にシート取付シャフトが浴槽の背もたれ側（または正面）曲面に干渉しないように、バスリフト本体の前後設置位置を調整してください。



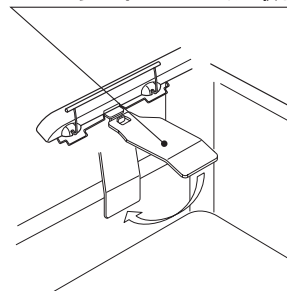
⑥アームレスト乗越えキットを取り付ける。（アームレスト付浴槽の場合）

浴槽の形状をご確認ください。

- ・アームレスト付浴槽の場合は、別売品の「アームレスト乗越えキット」をご購入してください。
- ・取付方法は「アームレスト乗越えキット」の取扱説明書をご確認ください。



アームレスト乗越えキット
バスリフトのアームに取り付けます



3-1 アーム幅の調整

警告



必ず実行

「アームの幅調整」と「浴槽内壁ストッパーの調整」を行い、バスリフトを浴槽にガタツキなくしっかりと取り付ける浴槽内壁ストッパー（スペーサー付）を確実に浴槽内壁に当たるようにすること

- 使用中にバスリフトが転落し、おぼれたりけがをしたりする原因になります。
- 浴槽にキズが付く原因になります。



禁止

幅調整のねじを締め付け過ぎない

浴槽を破損する原因になります。

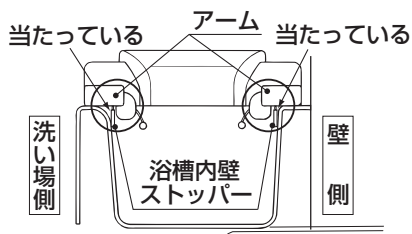
注意

①アームの幅調整を行います。

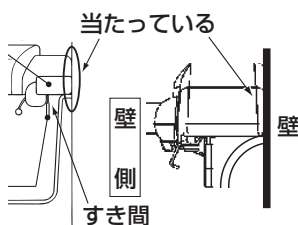
洗い場側、壁側の浴槽内壁ストッパーが浴槽内壁に当たるようにアームの幅を調整します。（図①）

※壁側のリム幅が狭く浴槽内壁ストッパーが浴槽に当たらない場合は、アームを壁に当ててください。（図②）

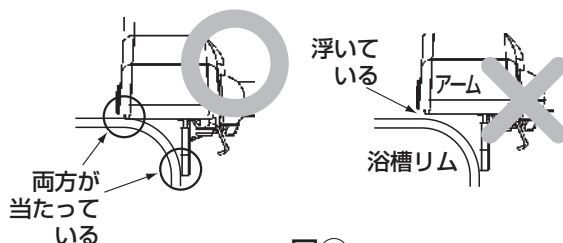
※アームが浴槽リムから浮いた状態は締め付け過ぎです。（図③）



図①



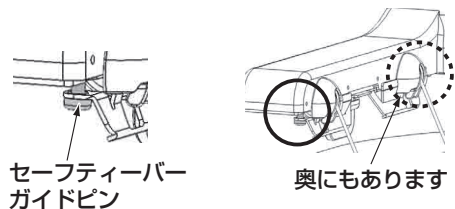
図②



図③

ポイント

※浴槽内壁ストッパーより先にセーフティーバーガイドピン（左右前後計4カ所）が浴槽に当たりそうな場合は、それ以上アームを広げずに、バスリフト本体を前にずらしてからアームの幅調整をしてください。



セーフティーバーガイドピン

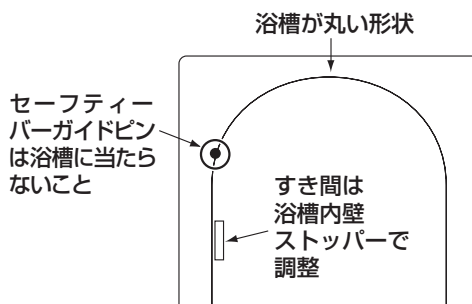
奥にもあります

警告



禁止

セーフティーバーガイドピンを浴槽に当てない
ガイドピンが浴槽に乗り上げてストッパーが効かず、使用中にバスリフトが動いたり転落し、おぼれたりけがをする原因になります。



セーフティーバーガイドピンは浴槽に当たらないこと

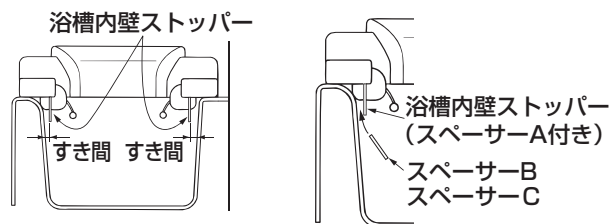
すき間は浴槽内壁ストッパーで調整

5-4.

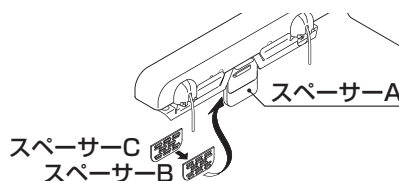
3-2 アーム幅の調整 (つづき)

※それでも浴槽内壁ストッパーより先にセーフティーバーガイドピンが浴槽内壁に当たりそうな場合

浴槽内壁ストッパーと浴槽のすき間量に応じてスペーサーB、または、スペーサーBとスペーサーCを取り付けます。



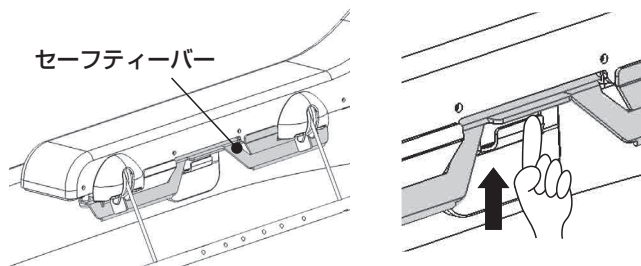
スペーサーAは、裏側に凹があります。その凹にスペーサーBの凸をあわせ強く押し込んでください。スペーサーCも同様にスペーサーBの凹にスペーサーCの凸をあわせ強く押し込んでください。



スペーサーB、スペーサーCを取り付けるとき、バスリフトの幅を若干縮めると取り付け作業がしやすいです。このとき、バスリフトの落下や、バスリフトと浴槽等の手挟みにご注意ください。

②幅調整後の確認

- 1) バスリフトがガタつきなくしっかりと浴槽に取り付けられていますか？
- 2) セーフティーバーをチェックしてください。セーフティーバーが浴槽に当たっている場合は、バスリフトの位置をずらして当たらないように調整してください。



ポイント

セーフティーバーを指で軽く押し上げて「カチッ」と音がしたら正常です。

警告

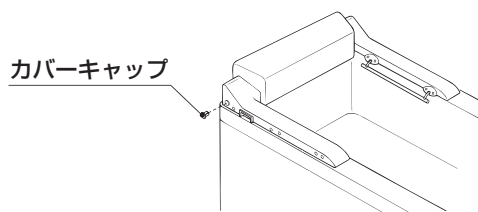


必ず実行

セーフティーバーが上下に動くことを確認する

セーフティーバーが作動しないとシートが上昇できずおぼれの原因になったり、シートとアームに手が挟まった時に止まらずけがをする原因になります。

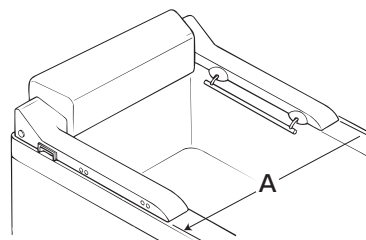
- ③調整穴（洗い場側）にカバーキャップを取り付けます。



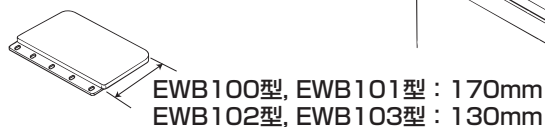
5-5.

4 シートへのフラップの取り付け

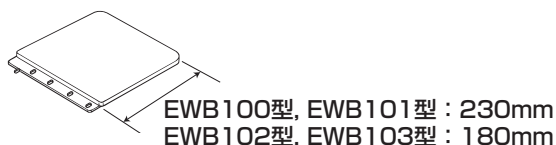
バスリフトの幅寸法によって使用するフラップの大きさが異なります。
 取り付けるフラップを間違えないようにご注意ください。
 (表側を上にして取り付けてください。下図の面が表側です。)



- 右図のA寸法が705mm未満の場合
フラップ小を使用します。



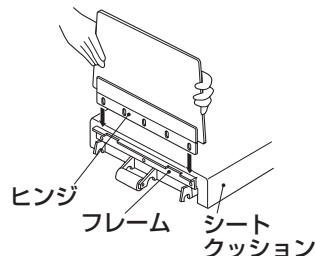
- 右図のA寸法が705mm以上の場合
フラップ大を使用します。



- ①シートにフラップのヒンジを差し込みます。

ヒンジの穴とフレームの穴の位置をあわせてシートクッションとフレームの間にヒンジを差し込んでください。

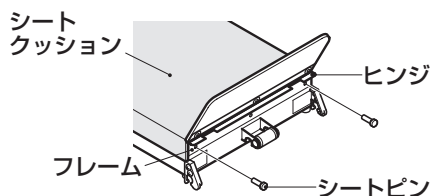
※ヒンジが入りにくい場合は、シートクッションを少し浮かせて差し込んでみてください。



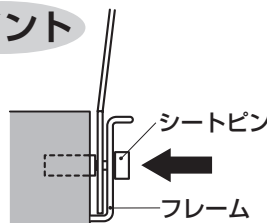
- ②ヒンジを固定します。

ヒンジの穴とフレームの穴の位置があっていることを確認したあと、図示の両端の穴(2カ所)にシートピンを差し込んでください。

※入りにくい場合はシートクッションを押さえたり、浮かせたりしてみてください。

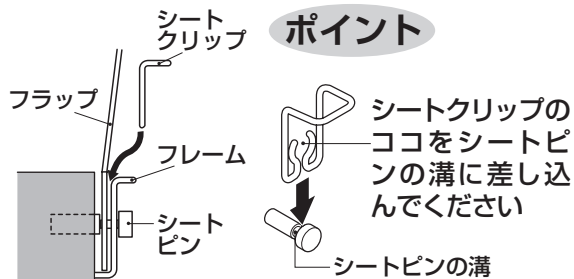


ポイント



※途中で引っ掛かっても上下左右にずらしながらシートピンの頭がフレームに当たるまで差し込んでください。

シートクリップをフラップとフレームの間から入れ、シートピンの溝に差し込んでください。



ポイント

シートクリップのここをシートピンの溝に差し込んでください

シートクリップがフレームの出っ張り部の中央にきていることを確認してください。(ずれている場合は正しく入っていないのでもう一度やり直してください) シートピンを引っ張って、外れないことを確認してください。

警告



シートクッションを確実にシートピンとシートクリップで固定する
 使用中にクッションが外れて転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。

5-6.

5 シートの取り付け

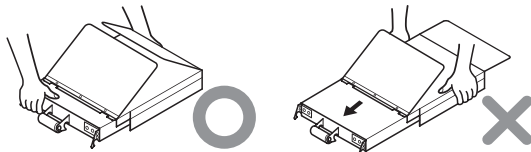
※シートは、短いフラップを洗い場側に向くようにしてください。

注意



禁止

シートはスライド方向を上下に持たない
シートがスライドし、思わぬけがをする原因になります。



- ①右図のようにフラップを跳ね上げ、取付位置を確認しながら作業してください。このとき、シートを手前のアームの上に仮置きすると作業しやすいです。
- ②右図のようにシートの「ローラー」間にシート取付シャフトの「カラー」が来るように位置をあわせませす。
- ③「シート取付シャフト」とシートの「切り欠き部」の位置をあわせませす。

ポイント

このとき、人さし指でシート取付シャフトを呼び込むと簡単に位置あわせできます。(右図参照)

- ④シートの「切り欠き部」を「シート取付シャフト」へ「パチン」と音がするまで押し込みませす。
※「シート取付シャフト」が「切り欠き部」の奥まで確実に入っていることを確認する。

注意



必ず実行

シート取付シャフトへ押し込むときは、手を挟まないように注意する
けがの原因になります。

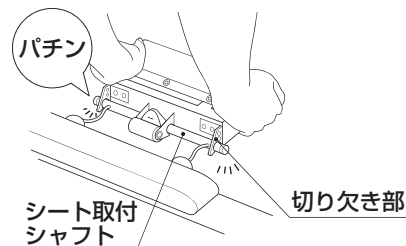
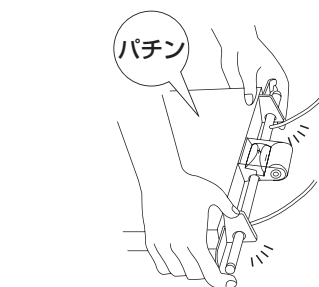
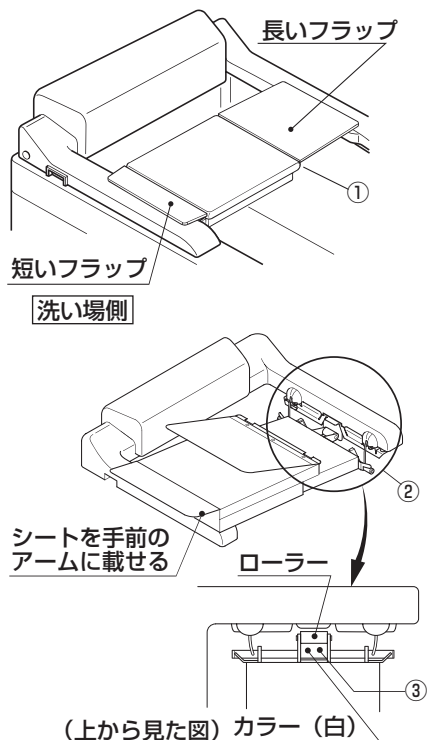
- ⑤反対側も同じ要領で行ってください。
シートの「切り欠き部」を「シート取付シャフト」へ「パチン」と音がするまでに押し込みませす。
※「シート取付シャフト」が「切り欠き部」の奥まで確実に入っていることを確認する。

警告



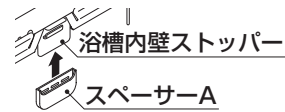
必ず実行

シートを確実に取り付ける
取り付けが不十分だとシートが落下し、おぼれたりけがをする原因になります。



6-2.

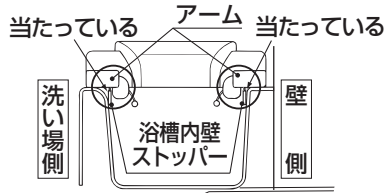
□浴槽内壁ストッパーにはスペーサーA、(B, C) がついていますか？



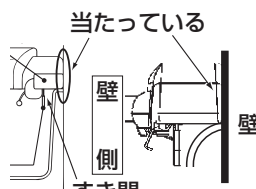
□洗い場側、壁側の浴槽内壁ストッパーが浴槽内壁に当たっていますか？ (図①)

※壁側のリム幅が狭く浴槽内壁ストッパーが浴槽に当たらない場合は、アームを壁に当ててください。(図②)

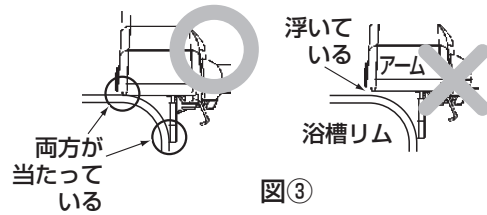
□アームは浴槽リムから浮いていないですか？ (図③)



図①



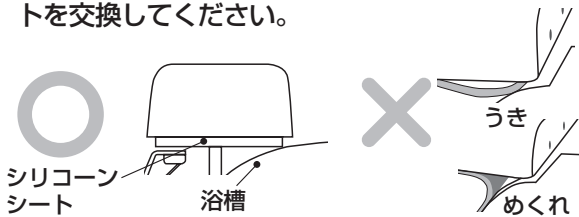
図②



図③

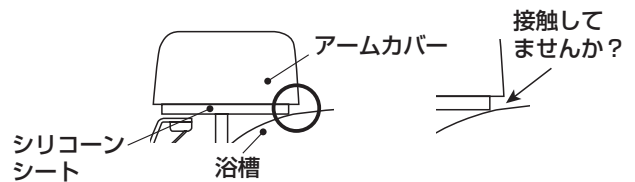
□アーム裏のシリコンシートは「うき」や「めくれ」がないですか？

「うき」や「めくれ」がある場合はシリコンシートを交換してください。



□アームカバーと浴槽が接触していませんか？

アームに荷重をかけて、接触しないことを確認してください。接触している場合は、幅調整をやりなおしてください。



7-1. 試運転

1. 電池の取り付け

指定の電池を使用してください。故障の原因となります。

①カバークッションを取り外します。

カバークッションは面ファスナーで固定されています。カバークッションを持ち上げて取り外します。

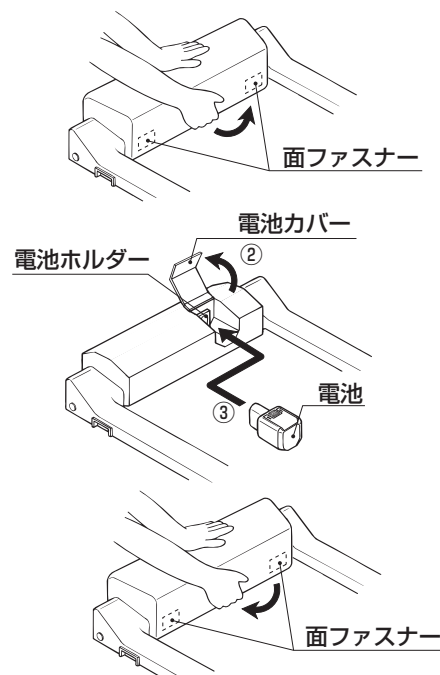
②電池カバーを開けます。

③電池の向きに注意して電池を電池ホルダーに差し込み、電池カバーを閉じます。

電池が水滴などでぬれている場合は、乾いた布などで水気をふき取ってください。電池やバスリフトの故障の原因になります。

④カバークッションを取り付けます。

①と逆の要領でカバークッションを取り付け、面ファスナーでしっかり固定します。



2. リモコンスイッチの操作

使用上のご注意

- ① シートを付け、シートに荷重を加えた状態でリモコンスイッチを操作してください。

※内部でワイヤーが巻き乱れを起こし、商品が動作しなくなる可能性があります。

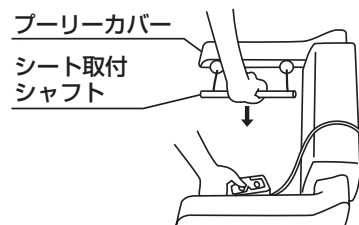
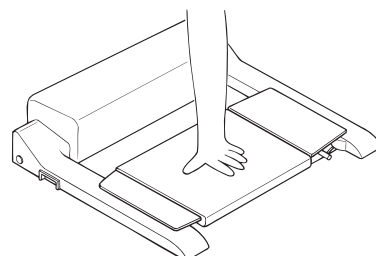
- ② シートを付けない状態でワイヤーを一番上まで巻き上げてしまった場合や、リモコンスイッチの「下」ボタンを押してもワイヤーが繰り出されなくなった場合には、以下の手順に従って、シートを取り付けてください。

- (1) リモコンスイッチの「上」ボタンを押し、左右のシート取付シャフトがプーリーカバーを押し上げ、止まるまでワイヤーを一番上まで巻き上げてください。

(商品内部でのワイヤーのたるみをなくし、たるみを検知するセンサーをリセットさせる方法です)

- (2) 左右のシート取付シャフトを両方同時に下に押しつけながら、リモコンスイッチの「下」ボタンを押し、最上点より10cm程度下げます。

- (3) P12 ⑤ シートの取り付け の手順に従ってシートを取り付けます。



▼短いフラップ側

パチン

パチン



▲長いフラップ側

① シートを昇降させる。

- ① シートを下げる。

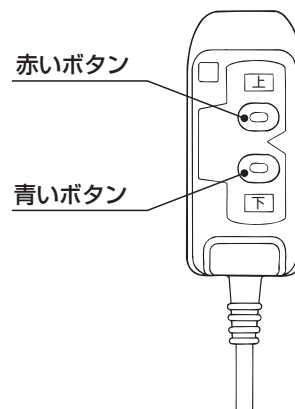
青いボタンを操作します。

- 青いボタンを押している間、シートは下がり続けます。
- 青いボタンを離せば、シートはその位置で止まります。
- シートが浴槽底面まで下がると停止します。

- ② シートを上げる。

赤いボタンを操作します。

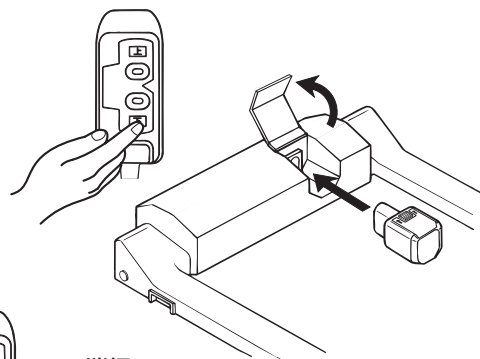
- 赤いボタンを押している間、シートは上がります。
- 赤いボタンを離せば、その位置で止まります。
- シートが最上点（アームと座面が同じ高さ）まで上がると停止します。



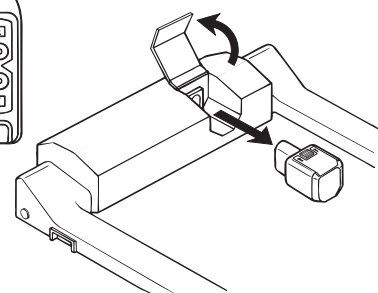
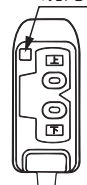
2. リモコンスイッチの操作 (つづき)

② 電池のリフレッシュ操作を確認する。

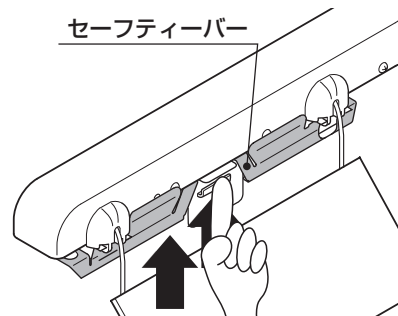
- ① リモコンスイッチの下降ボタン (青) を押しながら電池をバスリフトに差し込んでください。
- ② リモコンスイッチの電池残量警告ランプが点滅しているか確認してください。
- ③ この状態でボタンを押して昇降しないことを確認してください。
(リフレッシュ中は、昇降しません。)
- ④ リフレッシュを終了させるために必ず電池を取り外してください。長時間リフレッシュさせていると、電池の容量がなくなるので、充電する必要があります。



消灯



セーフティーバー



③ セーフティーバーの作動を確認する。

- ① シートをセーフティーバーが見えるまで下げる。
- ② セーフティーバーを押し上げた状態で赤いボタンを操作し上昇しないことを確認してください。

バスリフトにはシートの上昇中にシートとアームとの間に手や指を挟みそうになった場合にシートの上昇を停止させるセーフティーバーが付いています。

- セーフティーバーを押し上げている間、シートは上昇しません。

→ 「バスリフトが動かない!？」など、故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前にまず取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みください。

3. 試運転が終わったら…

警告



必ず実行

使用しないときは電池を取り外して浴室外の湿気のない場所に保管する

さびの発生と電池の寿命が短くなるおそれがあります。また昇降動作が停止しておぼれる原因になります。

試運転が終わりましたら、P14 **1. 電池の取り付け** の手順にならって電池を取り外しておいてください。電池の充電、バスリフトへの取り付け、取り外し、リフレッシュの方法についてお客様にご説明ください。

この説明書は、お客様もご使用されます。
施工後に必ずお客様にお渡しください。